

じんしゅう さけ
今週のことば「叫び」

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》マルコによる福音書 10:46-52

エジプトでの

さけ
イスラエルの叫び

せいしよ さけ さけ
聖書において、「叫び」「叫ぶ」とい
しんこうひょうげん もち
うことばは、信仰表現に用いられていま
とく しゅつ き とくしよくで
す。特に、出エジプト記にその特色が出
ています。

おんじん
エジプトの恩人であったヨセフのこと
し あたら おう しはい
を知らない新しい王が支配するようにな
ひとびと じゅうろうどう か
り、イスラエルの人々に重労働を課して
ぎやくたい ひとびと どれい
虐待しだすと、イスラエルの人々は奴隷
じゅうたい お
の状態に置かれるようになりました。

ひとびと ろうどう
『イスラエルの人々は労働のゆえにう
さけ ろうどう たす もと
めき、叫んだ。労働のゆえに助けを求め
かれ さけ こえ かみ とど かみ
る彼らの叫び声は神に届いた。神はその
なげ き
嘆きを聞き、アブラハム、イサク、ヤコ
けいやく おも お かみ
ブとの契約を思い起こされた。神はイス
ひとびと けいやく おも お
ラエルの人々との契約を思い起こされた。
かみ ひとびと かえり みこころ と
神はイスラエルの人々を顧み、御心に留
しゅつ き
められた。』(出エジプト記2:24-25)。

しんこうひょうげん よ げんしや う つ
この信仰表現は預言者にも受け継がれ

あたら けいやく つた
ていきます。新しい契約を伝えるエレミ
しよ み
ヤ書31:7に見られます。

こころ
あきらめない心

わたし じぶん お げんじょう
私たちは自分たちの置かれている現状
たい ふ まん
に対して、たとえ不満があるとしても、
あた まえ おも
当り前だとか、しかたないと思って、す
ぐにあきらめてしまいます。しかし、あ
げんじょう みと
きらめてしまうということは、現状を認
ま ちが じゅうたい
めてしまうことであって、間違った状態
ただ ほうこう か
を正しい方向に変えていくことはできま
せん。

さけ
やはり、おかしいことはおかしいと叫
たいせつ げんじょう か
ぶことが大切です。すぐに現状が変わら
ひとり き
ないにしても、一人でもおかしいと気づ
ひと さけ つつ いま
いた人が叫び続けることによって、いま
き ひと ひとり
でおかしいと気づかなかった人が、一人
ふたり ふ か のうせい
でも、二人でも増える可能性があります。
げんじょう か か のうせい
現状を変える可能性があることを、いつ
しん つつ たいせつ
も信じ続けることが大切です。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの
年間第30主日B年(滝野)